

夢に
向かって
前進!

パナソニックエイジフリー介護チェーン小松

店長さんに聞きました。

志高く、ゆとりと笑顔のある暮らしをお届けしている、各地のエイジフリー介護チェーンの方々をご紹介します。



株式会社ケア・サンエス
石田義治 店長様

趣味は、スノーボードやマリンスポーツなど、外で身体を動かすことが好きと石田店長。今年の夏も、ジェットスキーなどを楽しめたそうです。

今回は、石川県小松市で小松店を展開されている株式会社ケア・サンエスの、石田義治店長様にインタビューさせていただきました。

生きる軸となった、恩師の教え

学生時代の6年間バスケットをされていた石田店長。

一時は不調だったチームが、恩師の教えによって、一致団結して努力を重ね、見事、全国大会に出場を果たしたそうです。

その時の成功体験が、石田店長のやる気の原動力となっているようです。

その、恩師からの教えのひとつ、臥薪嘗胆（がしんしょうたん：目的を遂げるために苦心し、努力を重ねること）。小松店は、現在9年目。これまで、地域のお客様から相談しやすい、信頼されるお店づくりを目指し、この言葉通り、黙々と努力を続けてきました。

そして、石田店長は、礼儀の大切さも恩師から教わったといわれます。

一件、バスケットと直接関係ないと思われる礼儀ですが、ただ技術を磨くことが、優勝や成功に結びつくのではなく、礼儀（態度や姿勢）が目標の達成に影響することを学んだそうです。

石田店長が、いつも心がけていることとして、「誰にも見えないところでも、礼儀を忘れず行動する」ということを自ら実践し、スタッフにもお話しているそうです。

例えば、お客様のところに訪問した際、たとえ自分の靴でなくても、きれいに揃えておくなどの配慮をするなどです。

お客様からの「ありがとう」の言葉で自分の成功を実感します

今後の目標をお伺いすると、「私は、良い仕事をするためには、人材の成長が不可欠だと考えています。決められたことだけをするのではなく、スタッフが自分の力を発揮できるよう応援し、自分がお手本となるよう進んで行きたいと思います。そして、これからもお互いに提案や意見が言いやすいような環境づくりを行っていきます。」と今後の思いをお話されました。

また、お客様には、「お身体の状態や、お住まいやご家族のことなど、お客様によって本当に様々な条件があります。いくら良い商品やリフォームの提案であっても、お客様に少しでも不安要素があれば、それは本当に喜ばれるサービスとは言えません。プロとしてのアドバイスは当たり前として、お客様の様々なご要望に応えられるお店として成長し続けるよう邁進いたします。」と語っていただきました。

見えないところでの礼儀作法という素晴らしい習慣を教えてくださいました。石田店長、ありがとうございました。（譜久村）